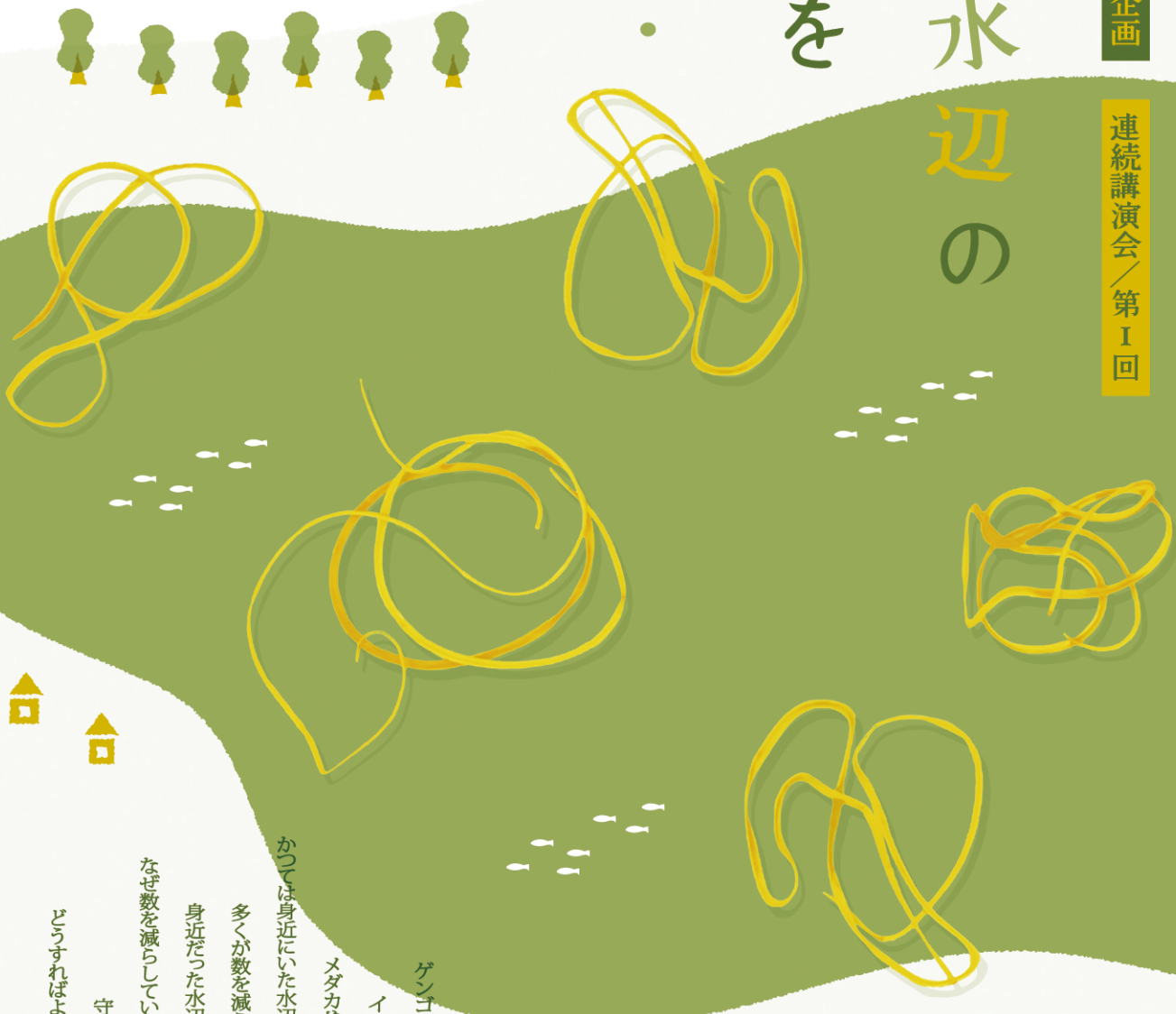


都立動物園・水族園合同企画

連続講演会／第I回

身近な水辺の 生き物を 調べる・ 守る



ゲンゴロウやタガメ、イモリやカエル、メダカやタナゴなどかつては身近にいた水辺の生き物の多くが数を減らしています。身近だった水辺の生き物はなぜ数を減らしているのでしょうか？

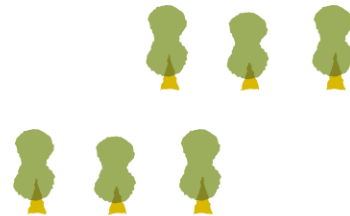
守っていくにはどうすればよいのでしょうか？

TOKYO SEA LIFE PARK

事前申込制 参加費無料 | **80名** 高校生以上 | **ホテルシーサイド江戸川** 2階会議室「はまかぜ」 | **2017|02|25** 13:30 ▶ 16:00

公益財団法人東京動物園協会 動物取扱業登録展示I2 東京都展第00489号 平成19年5月29日～平成29年5月28日 動物取扱責任者氏名: 錦織一臣、杉野隆、山本達也

身近な水辺の 生き物を 調べる・守る



ハリガネムシとその宿主カマドウマ ©Sachiko Danjo

都立動物園・水族園では2002年から都内にあるアカハライモリの生息地の保全活動に取り組んでいます。この講演会ではその活動を紹介するとともに、神戸大学の佐藤拓哉氏をお招きし、寄生虫であるハリガネムシが、実は森と川の生態系をつないでいるという興味深い研究について紹介します。



ハリガネムシ

第1部

講演 O1 「アカハライモリを守る～14年間の地道な活動～」

／堀田 桃子 (葛西臨海水族園 飼育展示課 教育普及係)

第2部

講演 O2 「ハリガネムシがつなぐ森と川の生態系」

／佐藤 拓哉 (神戸大学大学院 理学研究科生物学専攻 生物多様性講座 准教授)

子どもの頃、道端をふらふらと歩くカマキリを水につけてみると、そのお尻からにゅるにゅると紐のようなものが出てきた経験はありませんか？ それは、ハリガネムシという寄生虫です。ハリガネムシは、カマキリやカマドウマといった陸生の昆虫に寄生していますが、繁殖のために水辺にいかないといけません。そこで、ハリガネムシは宿主の脳を操作して、お世話になった宿主を水に飛び込ませてしまいます。本講演では、この興味深い宿主操作を通して、森と川の生態系がつながる不思議な現象について紹介します。

【プロフィール】子供の頃、澄みわたる水の中で見たアマゴの体側模様の美しさに魅了され、大学の卒業研究で在来サケ科魚類の生態研究に従事。2007年に三重大学大学院で学位を取得。その後、奈良女子大学共生科学研究センター、日本学術振興会特別研究員、京都大学白眉センター特定助教、プリティッシュコロンビア大学森林学客員研究員を経て、2013年6月より現職。日本生態学会「宮地賞」や「信州フィールド科学賞」などを受賞。



佐藤拓哉氏

応募方法

Eメールで以下のとおりお申し込みください。mizube@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「水辺講演会」とし、本文に参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・電話番号を記入してお送りください。お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。※応募者多数の場合は抽選とし、当落にかかわらずお知らせします。

▶ 2017年2月14日(火) 送信分まで有効

予告

連続講演会「身近な水辺の生き物を調べる・守る」第2回

▶ 2017年3月26日(日) 井の頭自然文化園にて開催予定



アカハライモリ

東京都葛西臨海水族園

TOKYO SEA LIFE PARK

2月1日(水)-3月1日(水)の間、電気設備の工事のため休園します

- 開園時間: 午前9時30分～午後5時(入園は4時まで)
- 休園日: 毎週水曜日(祝日や都民の日に当たるときは翌日)
- 入園料: 一般700円 65歳以上350円 中学生250円
※小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
- お問い合わせ: 東京都江戸川区臨海町 6-2-3 / 03-3869-5152
- H P : http://www.tokyo-zoo.net/



ハリガネムシがつなぐ森と川